

ハート・オブ・ゴールド



通信

2014年1月15日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局
本部 〒701-1213 岡山市北区西辛川 895-7
レジデンスアロー 101
TEL&FAX 086-284-9700
E-mail: hginfo@hofg.org

URL: <http://www.hofg.org/>



カンボジアのヘム・ブンティン選手と



スタート前



運営を引き継いだカンボジア陸上連盟スタッフ



今年も大勢のランナーが参加

第18回 アンコールワット国際ハーフマラソン 2013

今大会より運営をカンボジア側に完全移譲しました。

有森代表は、「Co-Founder and Honorary President of Angkor Wat International Half Marathon (AWHM 終身名誉会長)」として大会に継続参加します。

そしてハート・オブ・ゴールドは、日本、そして世界の方々にこの大会を広め、ご参加いただくために尽力します。



HG代表理事 有森 裕子

今年はカンボジアと日本の友好60周年という記念すべき年にあたります。

その中で、両国が初めてスポーツを通じ、人々の生きる力を育てる架け橋となったのがこのマラソン大会です。当時、内戦で荒れていたカンボジアに平和を願い、お互いに知恵と想いを出し合いながら、ないものを補いあってきました。そして18年、主たるオーガナイズをさせていただいていたハート・オブ・ゴールドも技術面、運営面においていちじるしく成長されたカンボジア現地の方々に、そのオーガナイズ全てを移譲できる時期を迎えました。これほどうれしいことはありません。

皆様のご協力・ご尽力に心からの感謝と敬意を表したいと思います。

どうかこれからも、このマラソン大会が、未永く多くの方々に愛され、大切にされ、カンボジアの平和と誇りを持てる大会として、益々発展されますように祈念し、スポーツを通じた世界中の平和の象徴となりますよう、心より願っています。

(AWHM 前夜祭でのメッセージより)



今大会の参加ランナーは7,579人、参加国数は75カ国と過去最多を更新しました。ハーフマラソン男子第1位は、日本の小野塚稔さん。前夜祭とマラソン大会では、4年連続で参加の「鼓粋若衆板橋轟太鼓」の和太鼓演技が、会場を盛り上げました。

「認定NPO法人」になりました。寄付控除が受けられます！

ハートペアレント事業について



元気いっぱい

カンボジアでは、全土の7割を占める農村地域に、非常に過酷な状況に置かれた子どもたちもいまだ数多くいます。ニュー・チャイルド・ケア・センター（NCCC）では、将来自立できるための教育機会を与え、毎日の食事を心配しない安定した生活が送れるよう、今後も可能な限り受け入れをしていきます。2001年より始めましたハートペアレント事業では、NCCCの子どもたち、ならびに日本留学生を、ハートペアレント様の月々3500円のご支援で支えております。支援者様には交流ハートチャイ

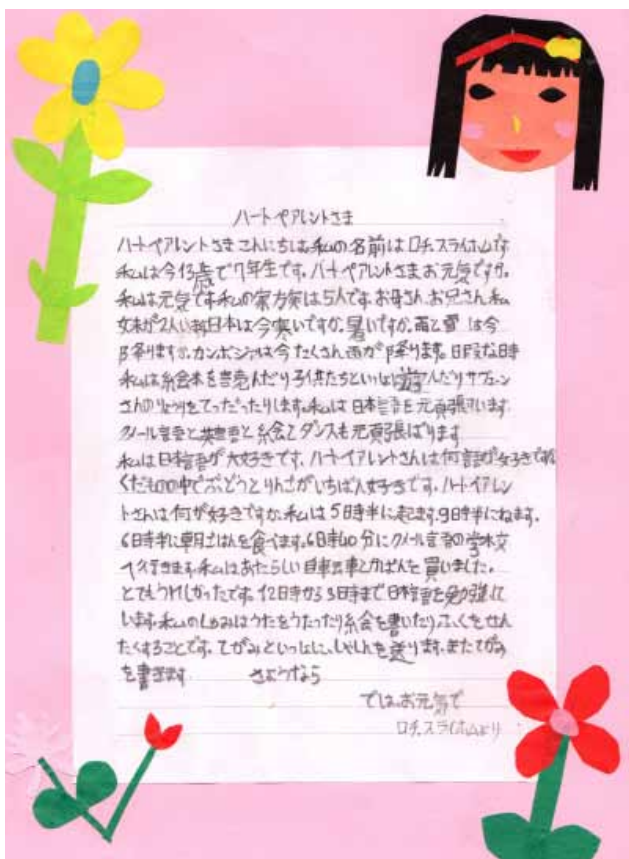


きれいになった食堂

ルドからのカードを含む3回のお知らせが届きます。

ご希望によっては、ツアー参加や現地訪問をして直接交流も実現できます。下記は、お寄せいただいたハートペアレント様からの感想のご紹介です。（一部抜粋）

本事業の意義と感動を分かち合うとともに、皆様の日ごろのご支援に深く感謝申し上げます。ハートペアレント事業へのお問い合わせは本部事務局までお待ちいたしております。詳細はホームページをご覧ください。



☆「2002年より交流したお子さんは、立派に成長し社会人になられ、大変嬉しかったです。二人目のハートチャイルドさんは、入所時には8歳で未就学でしたが、現在は日本語で書いた手紙をくれるなど、入学後大変勉強されたのでしょうか、上手な文章で丁寧に書いてくれました。」

☆「里親をさせていただいているお子さんが、将来夢を叶え、自立した生活が出来るようになるまでは、親として見守っていきたいと思います。彼女の結婚式に出たいです。私の夢が一つ増えました。」

☆「最初のウォーキング大会ではただ手をつないで歩くだけでした。その後、彼女は日本語を勉強して、2011年の大会では子どもたちを代表して日本語で挨拶するようになり、我が事のように嬉しかったです。」

☆「子どものときから、親と離れなければいけない状況を思うところが苦しくなります。でもその状況をまったく感じさせない子どもの笑顔に心が癒されます。」

ニューチャイルドケアセンター (NCCC)

プロジェクトマネージャー 磯邊 千春

NCCCは10月末に新しく4人の兄弟が入り18人となりました。父親を不慮の事故で亡くし、上の子は下の子の面倒をみるために学校に通えていない状況でした。子ども達はNCCCにきて約2か月みんなと生活し、初めておなかいっぱいご飯を食べ、元気に学校へ通っています。

6月には高野山からお坊様二人が来訪くださり、法話をいただきました。

今年も（公財）日本国際協力財団の助成により、環境整備やスタッフの育成活動ができています。7月に食堂の改修工事を行い、明るく広く、風も通るようになりました。会話を楽しみながら食事をとることが出来るようになりました。また、台所も清潔で広くなり、大勢で一緒に調理することができます。



日本の学校とのスカイプを通じた顔の見える交流により、日本とカンボジアの子ども達の絆が深まりつつあります。

11月末のHGスタディツアーでウオーキング大会に参加し、12月には岡山学芸館高校のみなさんが2班に分かれて来訪されました。

HGスタディツアーでは、センターで初めての消火訓練が行われ、消火器の使い方について学びました。子ども達は、日本の消防士の動きに食い入るように見入っていました。

岡山学芸館高校のみなさんがジェトロファの木（100本）を植えて生垣を作ってくれました。この生垣が双方の友情の証として育つのを楽しみにしています。

子ども達は日本のみなさんからの支援による環境整備と温かい交流や励ましのなかで日々成長しています。

HGむつみ日本語教室

6月19日は高野山大学 森崎雅好先生による臨床動作法、高野山真言宗国際局課長の谷口真梁様による呼吸法の実技指導を受けました。

11月29日はHGスタディツアーのみな様とアンコールウオーキング大会に参加



し、日本の方達と親しく交流ができました。

12月2日から新しいチューリップ組35名のクラスが始まりました。今年も岡山学芸館高校が研修旅行で、12月11日A班39名と13日B班41名の訪問がありました。ダンスや手芸、折り紙、習字、サッカーなど有意義な交流ができました。

卒業生も留学1期のスライミーは働きながら7月の日本語検定2級に、12月にはガイド試験に合格しました。5期のワンニダーは午前中大学に通いながら、午後は日本語教室の臨時スタッフとしてチョンパー先生を助けています。6期のスライノッチは9月からNCCCのスタッフとして働き始めています。

4月から岡山学芸館高校に留学したセラーは、学業のほか、クラブ活動（バレーボール部と演劇部）にも励んでおり、夏休みには祭りを楽しんだり、日本語スピーチコンテストに出場したり、日本の生活を有意義に過ごしています。



岡山学芸館高校との交流

カンボジアで運動会を！

PE (Physical Education) Festival in Cambodia



12月7日、シェムリアップのワット・チョーク小学校にて、同国教育・青年・スポーツ省 (MoEYS) 学校体育スポーツ局 (DPESS) と HG が協力して、政府主導の運動会を開催しました。

これまでに DPESS の体育担当官 (ナショナル・トレーナー、以下 NT) の研修受け入れを行ってきた岡山

大学教育学部、岡山県、岡山市、玉野市の協力を得て、体育専門家が現地で指導を行い、当該校の教職員や児童らとともに、カンボジアオリジナルの運動会を実現させることができました。(※体育専門家は、岡山大学教育学部 原祐一氏、岡山市教育委員会 友末修三氏、玉野市立山田小学校 大倉尚志氏の3名)

また、NT が中心となり運動会のマニュアルを作成し、今後、「みんなでスポーツ文化を楽しむ」「体育授業の成果を図る」「地域とのつながり」を目的とした運動会をカンボジア国内に広めていきます。

2011 年、岡山での研修時に見た運動会を、是非カンボジアで自分たちの力で開催したいと、NT とともに熱望した HG 東南アジア事務所スタッフのケオ・ソチェトラは、今回の事業でプロジェクトリーダーを務めました。



MoEYS や近隣小学校からの視察



リレー



元気いっぱい応援

プロジェクトリーダー
ケオ・ソチェトラ

運動会当日までに NT、HG スタッフ、専門家との協議に十分な時間が充てられなかったため、プログラム確定が遅れる原因となり、専門家や NT の意見が各プログラムの具体的な部分にまで反映しきれなかったのが残念だが、青年海外協力隊の藤丸氏の開催前の1カ月間の現場での指導、調整により、学校と NT、専門家との連携がとれた。また、現地での直前の指導においては、NT は専門家の考えを理解し、専門家も学校運営を乱すような計画変更を求めることはなく、互いに意見を交わし、尊重し、そして、当日には想像をはるかに超えた運動会が実現した。

MoEYS 事務次官補と DPESS 局長に現地に足を運んでいただき、

運動会の臨場感を実際に味わってもらえたことは、効果的であった。事務次官補は、将来的に全国規模で体育の日を設定し運動会を行いたいとの意向を示された。

岡山大学の学生たちが、得点表示によるチームワーク強化やロープワークによる安全管理を担当してくれたことで、より充実した。また、彼らとの交流が「日本カンボジア友好60周年記念認定事業」として更に意義深いものとなった。

体育教育計画や運動会について MoEYS 副大臣に報告書を提出する際には、体育授業や運動会の映像を見てもらうことができ、体育に対し関心も意欲もあるように見受けられ、体育を広めるための予算を MoEYS で確保できるよう DPESS 局長らに指示されていた。カンボジアを支援してくれる日本に対し謝辞を述べら

れた。

現在、NT と専門家との協議のもと運動会のマニュアル作成を進めている。今後の運動会実施における要綱、サンプルとして重要なものとなる。学校も違えば状況も違い、校長や先生、児童も違えば、時代も変わる。したがって、正式に運動会のマニュアルを完成させるまでには更なる調査研究、経験を積み上げていかねばならない。特に専門家の支援は引き続き必要である。また、本事業を継続していくうえで、特に体育を主導する NT は、準備段階からもっと関わり、様々な状況に対応する経験を積み、全国規模での体育の日設定、運動会実施という大きな目標に向かって前進してほしい。そして、私たちは、それを全力でサポートしていく。

(原文は英語)

カンボジア王国小学校体育科教育普及事業

プロジェクトマネージャー 西山 直樹

2013年4月から開始している独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）との共同事業「カンボジア小学校体育科教育 自立的普及に向けた人材育成及び体制構築のための事業」について、5月以降いよいよ本格的に普及活動が始まっています。

今回の事業では対象を15州に広げていますが、これを5つの地域に分け、半年ごとに巡回する手法を用います。

巡回の際の活動内容は、以下の通り。

◆スヴァイリエン地域（タケオ州・プレイヴェン州）での新体育普及活動

①新規対象州、タケオ州・プレイヴェン州にて拠点校を2校選出する。

②先行事業で拠点校となっているスヴァイリエン州の2小学校、1教員養成校を視察し、モデルとなる教員（地域トレーナー）を選出する。

③選出した地域トレーナーを対象に新体育指導法のワークショップを開催する（同時にスヴァイリエン州の近隣4小学校を招待し、スヴァイリエン州での普及も行う）。

④地域トレーナーが新規対象州（タケオ州、プレイヴェン州）の教員に対し、新体育についての説明・実技を行う。

⑤研修を受けたタケオ州・プレイヴェン州の教員がそれぞれの学校に持ち帰り、校内で他の教員に新体育を紹介する。

⑥タケオ州・プレイヴェン州の教員が実際に子どもたちに新体育の授業を実施し、ハート・オブ・ゴールドスタッフと教育・青年・スポーツ省の担当官（以下、ナショナル・トレーナー）がモニタリングを3回実施する。

⑦新体育の実習成果をタケオ州・プレイヴェン州の拠点校相互で発表し、各校の状況を把握、共有し、お互いに技術・知識をさらに向上させる。

12月21日を以って最初の地域であるスヴァイリエン地域（タケオ州・プレイヴェン州）にて上記①～⑦の活動を終えました。拠点校を選出時まで実施していた古い体育に比べ、それぞれの学校では新しい体育が導入されており、子どもたちも楽しんで体育の授業を受けている姿が確認できました。今後の課題は、新しい体育の授業を継続し、向上させていくことです。

2014年1月からはクラチェ地域（ストゥントレン州・ラタナキリ州）において活動を実施する予定。



地域トレーナーが実践しながら新体育の指導法を学んでいる様子



プレイヴェン州・タケオ州の教員に対し、実施した地域トレーナーによる新体育紹介の研修の様子



第1回目のタケオ州でのモニタリングの際の体力測定を実施している様子



オープン・クラスの様子。プレイヴェン州では子ども達も新体育を楽しんでいました

ボールを集めています

体育普及事業とサッカー大会で使用するボール（新古いずれも）をHGスタディツアーで持ち込みました。

チャリティ少年サッカー大会 in 三河の参加チーム、西尾タートルズ、熱田SC、モンキーズ、つつじが丘FC

大磯FC、知立少年サッカースクールからはサッカーボールのほか、たくさんのユニフォームやビブスを、またボール用の空気入れは「デンソーはあとふる基金」を利用して寄贈いただきました。

女子V・プレミアムリーグの岡山シーガルズ各選手からサイン入りバレーボールやエイコースポーツ（岡山）からも店頭募集で集まったボールをいただきました。これらのボールは、岡山学芸館高校、清秀中学校の研修旅行で、空気入れを添えてカンボジアに持ち入っていただきました。

カンボジア・ジュニア・サッカー大会
2014にご協力を！

本年は参加者を前回の5州から15州に広げて開催予定です。
資金が不足しています。ご支援をお願いします。
開催日：2014年1月25日、26日

3.11 子ども animo プロジェクト

◆被災地に太陽光を！ 人々に希望の光を！

JS ファウンデーションと協力して、福島県と宮城県の被災地に太陽光街路灯を下記に設置しました。

1. 石巻市立万石浦中学校（12 基）
2. 伊達市立桂沢小学校（4 基）桂沢公民館（3 基）
掛田小学校（6 基）小国小学校（7 基）
3. 山本町立坂元中学校（5 基）
4. 南相馬市立小高小学校（10 基）、小高中学校（15 基）

2014 年には改築された渡波小学校に 5 基が設置される予定。

実施に当たっては福島クラブの本田直氏が現場に入り調整監督を引き受けられ、大変なご苦勞があったと聞いています。中でも南相馬市は、まだ警戒地域になっておりその中での工事でした。廃墟の中で照らす光は希望の光として人々を勇気づけているとの報告でした。



南相馬市ソーラー街路灯設置
手前は汚染土



伊達市ソーラー街路灯設置

＊吹田中の島チャリティラン

大会実行委員長 松村 政子

9月15日（日）第7回大会が開催されました。

今大会のエントリー数は昨年より100名多い500名を超える皆さまにエントリーいただいておりますが、台風18号の影響で残念ながら欠場がありました。

幸いにも大会が始まるころには雨が上がりスパンキーズのチアリーダー披露に続き、3時間走とゲームリレーを無事終了いたしました。（総参加者数 793 名）

ゲストのランナーの方々、後援、協賛、協力団体と多くのボランティアの方々にお礼申し上げます。大会からの支援金は 3.11 子ども animo プロジェクトに寄付しました。詳細は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.sutv.zaq.ne.jp/snr/>

吹田中の島ランナース

◆学校支援

東松島市立野蒜小学校からは昨年に引き続いて、校外学習への支援要請がありました。11月に自動車工場見学のためのバス代と卒業アルバムの支援をしました。（卒業アルバムは3月配付予定）

毎年有森代表が学校訪問し体育の授業を行っています。今年から体作りのためにマラソン大会を始めたそうです。

渡波小学校の木村先生からは、子ども達が元気に学校生活を送っている様子が届きます（HG ブログに掲載）
子どもの元気は大人達の元気を生みます。



私たち元気です！ 渡波小学校3年生と木村先生

あの大震災から3年が過ぎています。まだまだ復興に手が届いていない所が多く、私達も寄り添いながら息長い支援を続けたいと思っています。皆様からのご支援をお願いします。

※3月25～27日、被災地へのスタディツアーを計画中です。ご希望の方は、ホームページをご覧ください。お申し込みください。

たまの親子チャリティマラソン in おもちゃ王国 ーカンボジアの小学校に鉄棒を贈ろう！ー

9月16日（日・祝）、おもちゃ王国（岡山県玉野市）で第3回大会が開催されました。

参加者は前年を上回る241名（子ども133名、大人108名）で、今年は家族揃っての参加が多くみられました。大会恒例のALIVE Skating Performers Okayamaのメンバーによるインラインスケーター先導でスタート。遊園地内の周回コースで、小さな子は遊具の前で立ち止まったりするなか、有森代表と一緒に走り、声かけやハイタッチで応援するなど、行ったり来たりして参加者と交流し、楽しい時間を過ごしました。

ボランティアリレー

想いをつなぎ、夢の懸け橋に

美容室カモン R オーナー 加門 絹江

ハート・オブ・ワールドのスタディーツアーに、自分探しの旅で参加。2009年初めて訪れたカンボジアでチャリティーカットを実施。キラキラした眼差しに接して、今まで忘れかけていた当たり



前のことに気付かされました。その後、毎年続けて4年間カンボジアを訪問し、美容師になりたい希望を持っているバン・サオピアさんと交流を続けました。

2012年8月にサオピアさんが高校を卒業し、今度は自分が出来る事として彼女の研修生受け入れを決めました。今年はカンボジアに入って彼女の様子を兄弟に話して安心してもらいました。

サオピアさんには美容の技術と共に、挨拶や掃除、お客さんへの気配りなど自分から進んで気が付ける人として育ててほしいと願っています。また、日本文化や芸術に触れ、感動することが出来る豊かな人間力を持った人になってほしいと、美術館巡りなどを行っています。

サオピアさんの成長していく姿にスタッフたちも影響を受けて成長してほしいと思っています。毎年12月第3日曜日に「チャリティーカット」を開いて彼女が将来カンボジアで美容室を開くための資金集めも進めています。活動に協賛してくださる方を広く募っています。一緒にカンボジアで親がいなかったり、貧しかったりする子どもたちが自立するための拠点づくりに参加しませんか？

この冬も登りますよ！ 第8回 HG チャリティー耐寒登山

大阪で唯一降雪時に樹氷・霧氷が楽しめる金剛山でお腹一杯マイナスイオンを満喫しませんか？ご参加をお待ちしております。

【日時】2月9日（日）

【参加費】※チャリティー募金とさせていただきます。

一般 1,000 円、学生 500 円、中学生以下は無料、任意募金のみ。

【集合場所】金剛山登山口徒歩2分、さわやかトイレ前駐車場

※詳細は、HG までお問い合わせ、またはホームページにてご確認ください。

活動報告（2013 年後半）

- 7/4 岡山市立政田小学校出前授業
- 7/5 ～ 万石浦中学校ソーラー街灯炉設置
- 7/16 ～ 伊達市ソーラー街灯炉設置
- 8/1 岡山 NPO センター発表（サオピア）
- 8/15 アンコールクラウ村絵画展・対談（東京）
- 8/25 あいあいフェスティバル徳島代表講演（徳島）
- 8/26 坂元中学校ソーラー街路灯設置
- 8/27 倉敷平成ライオンズ定例会出席
- 8/29 大阪大谷大学来訪（プノンペン アジア事務所）
神戸垂水ロータリー定例会出席
- 8/30 HG 福島クラブ総会・交流会
- 8/31 HG 長岡クラブ総会・交流会
- 9/1 ～ 5 岡出先生ワークショップ（プノンペン）
- 9/9 岡山市立馬屋下小学校出前授業
- 9/13 岡山市立石井中学校四つ葉祭／岡山学芸館高校文化祭
- 9/15 吹田中の島チャリティーラン（大阪）
- 9/16 たまの親子チャリティマラソン in おもちゃ王国(玉野)
- 9/26 ～ 岡山市立坂元中学校ソーラー街灯炉設置
- 10/6 おがち健康マラソン（秋田）
- 10/15 ～ 南相馬市ソーラー街灯炉設置
- 10/23,30 スカイク国際交流
- 10/28 姫路東ロータリー定例会出席
- 10/30 スカイク国際交流
- 10/31 岡山市立政田小学校出前講座（2 回目）
- 11/5 岡山県法人女性部会代表講演（玉野）
- 11/10 日本語弁論大会（セイラー）
- 11/12 岡山南ロータリー定例会参加
国際ソロプチミスト社会貢献賞授賞式（新潟）
- 11/16 石井中学校講演
- 11/23 岡山旭ライオンズ 50 周年記念式典
- 11/24 富士山マラソン（山梨）
- 11/28 HG スタディーツアー出発
- 11/29 アンコールウオーキング大会（シェムリアップ）
- 12/1 第 18 回アンコールワット国際ハーフマラソン
- 12/7 ワットチョーク小運動会（シェムリアップ）
- 12/16 第 4 回カモンチャリティーカット（岡山）
- 12/20 岡山中央ロータリー定例会
- 12/23 山陽女子ロードレース HG 出店（岡山）

活動予定（2014 年前半） 変更あり

- 1/11 LCIF & 日本ライオンズ NCCC 来訪（シェムリアップ）
- 1/15 岡山学芸館清秀中学校カンボジア研修旅行受入
- 1/25-26 カンボジア・ジュニア・サッカー大会（プノンペン）
- 2/2 みんなの文化祭（岡山 NPO センター）
- 2/19 図書館贈呈式（コンポントム）
- 2/28 チャリティーディナー（東京）
- 3/2 第 34 回篠山 ABC マラソン
- 3/3 第 7 期留学生帰国
- 3/21 淀川国際ハーフマラソン・交流会（大阪）
- 3/25-27 東日本スタディーツアー
- 3 月末 第 8 期留学生来日
- 4/20 第 24 回かすみがうらマラソン（土浦）
東日本会員交流会（東京）
- 5/11 Arimori cup マラソン大会（穂別）
- 6 月 HG 総会・理事会・西日本会員交流会